

ピリオドスコア 準々決勝

2015/6/20

No		T-n		チーム名	1Q	2Q	3Q	4Q	OT	Total
A1	A1a	262	女	拓大紅陵	9	21	9	10		49
	A1b	282		千葉経大附	15	14	22	13		64
<p>立ち上がり拓大はN07のインサイドを中心に堅実に加点し経済を走らせない展開。中盤まで重い試合が続くが、後半に入り経済のディフェンスが機能しだすと徐々に点差が開く。 拓大も我慢しながら着いて行くが、点差は詰められず、タイムアップ。千葉経大附は苦しい展開ながらもベスト4入りを果たした。</p>										
B1	B1a	242	女	千葉英和	13	17	30	19		79
	B1b	261		幕張総合	17	9	15	18		59
<p>序盤の流れを掴んだのは幕張総合。外角シュートが良く決まり主導権を握る。なかなかシュートが決まらない千葉英和は中盤からリバウンドを頑張りゴール下を支配していく。ペースを掴んだ千葉英和はプレスを仕掛け一気に流れを引き戻した。終盤、幕張も巻き返しを図るが、英和は崩れず幕張の追撃を寄せ付けず勝利した。</p>										
A2	A2a	201	女	昭和学院	24	22	16	26		88
	A2b	218		千葉敬愛	12	11	7	10		40
<p>立ち上がりから高さ、シュート力ともに安定感がある昭和学院。千葉敬愛も地道に得点を重ねるが確実に点差が開く。昭和学院は選手を交代しながら主導権を譲らずゲームを支配した。将w学院が危なげない試合運びでベスト4入りした。</p>										
B2	B2a	222	女	市立船橋	16	7	20	20		63
	B2b	241		千葉商業	0	19	11	9		39
<p>序盤、ペースを掴めない千葉商業。ようやく2Qに対応しチームが稼働し始める。しかし、互いにロースコアで重たい展開となる。後半、ようやくお互いに本来の展開となるが、多角的に加点できる市立船橋のペース。ディフェンスを頑張り、積極的に攻めた市立船橋がシード校の一角を崩しベスト4入りを果たした。</p>										
A3	A3a	101	男	市立船橋	22	34	24	30		110
	A3b	121		千葉商業	11	15	11	13		50
<p>序盤、千葉商業は丁寧なゲームメイクで市船にペースを掴ませない展開。2Q、市船はディフェンスを強化し、走る展開にすると一気にペースを掴み点差を広げる。千葉商業もひるまず攻めに行くが、見切られることが多くなり防戦一方となる。その後も攻守速攻を貫いた市船が大量リードのままベスト4一番乗りを決めた。</p>										
B3	B3a	122	男	習志野	17	15	17	20		69
	B3b	141		柏日体	26	15	11	31		83
<p>主軸を欠いて手探りの柏日体に対し、積極的に攻める習志野の五分の立ち上がり。2Qころから高さが効いて攻防共に少し柏日体が有利に。3Q立ち上がり、高さに対応した習志野がスパートし一気に追いつめる。しかし、終盤リバウンドから走る展開をたて続けに成功させた柏日体が勝負所でリードを広げゲームを決定づけた。どちらも闘志あふれる展開で好ゲームであった。</p>										
A4	A4a	162	男	拓大紅陵	9	7	2	17		35
	A4b	182		八千代松陰	14	19	29	23		85
<p>立ち上がりから八千代松陰がゲームの主導権の握る展開。堅いディフェンスから速攻を決め流れを作る。拓大も巻き返しを図るが得点が単発になり流れを作ることができない。終始ゲームをリードした八千代松陰が拓大を封じ込め快勝した。</p>										
B4	B4a	142	男	市立柏	16	11	12	5		44
	B4b	161		東海大浦安	12	4	14	10		40
<p>マンツーマンで守りきるが得点の伸びない市立柏とディフェンスを工夫して守り点につなげたい東海の我慢比べ。互いにスコアの伸びない重たいゲームとなった。互いに決め手に欠けるが、後半の勝負どころで得点を重ねた東海が終盤詰め寄るが、苦しいながらゲームをコントロールした柏が辛くも逃げ切った。</p>										